



Singakademie Tokyo

ジングアカデミー東京 第6回演奏会

D. スカルラッチェ スターバト・マーテル
Domenico Scarlatti : Stabat Mater a Dieci Voci
I. ピッツエッティ レクイエム
Ildebrando Pizzetti : Messa di Requiem 他

指揮 大島 博
オルガン 今井 奈緒子
コントラバス 櫻井 茂
合唱 ジングアカデミー東京

2014. **9.28** Sun.

14:00 開場 **14:30** 開演

上野学園 石橋メモリアルホール

前売券 ¥3,000 / 当日券 ¥3,500 / 学生券 ¥2,500

お問い合わせ TEL/FAX 03(3351)0705 金子
singakademietokyo@gmail.com

「声の国」の音楽

「音楽」と聞いて、どの国をまず思い浮かべますか？おそらく最も多いのは「ドイツ」という答えでしょう。確かに、バッハをはじめ、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、ヴァーグナー・・・と日頃私たちが親しんでいる楽曲は、その多くがドイツ語圏で生まれた作曲家によって作られています。ただし、ドイツで音楽が盛んになるのは市民階級が台頭する18世紀以降の事で、それまでは何と言ってもイタリアが中心的な存在であり続けたのです。

古来、音楽は教会での礼拝のために発達して来ました。従って声楽、中でも合唱が重要な位置を占めています。西洋音楽の源とされる『グレゴリオ聖歌』(もともと、今残されている旋律は9世紀以降にフランスで編纂されたものの様ですが)に始まり、ルネサンス期にはフランドルの巨匠たちの多くがイタリアで仕事をしています。教会音楽を刷新したパレストリーナを経て、バロックの幕を切って落としたモンテヴェルディ、そしてオペラの分野で今も盛んに上演されるロッシーニ、ヴェルディ、プッチーニ・・・。伝統は脈々と受け継がれています。

今回は、バッハと同年生まれのドメニコ・スカルラッチェの手になる『スターバト・マーテル』と、20世紀に教会音楽の伝統を巧みに取り入れた作曲家、イルデブランド・ピッツェッティの『レクイエム』を2本の柱としてプログラムを組みました。いずれも、それほど頻繁に取り上げられるわけではありませんが、知る人ぞ知る名曲として根強い支持を受けている作品です。合わせてオペラ作曲家達の宗教曲も演奏します。

「声の国」イタリアの作曲家達の競演(饗宴?)を、存分にお楽しみください。

大島 博

今井 奈緒子 (オルガン)

東京藝術大学、ドイツ・フライブルグ音楽大学オルガン科を経て1985年ドイツ・ゲオルグ・ベーム国際オルガンコンクール、88年ベルギー・ブルージュ国際バッハ・コンクールに受賞。日本各地におけるソロ活動のほか、経験豊かな通奏低音・アンサンブル奏者として共演者から信頼を得ている。ソロCDに「シャイトのアラマンダ」「バッハ：クラヴィアア練習曲集第3部」「スウェーデン7つのオルガン」「バッハのコーラルを歌う」(付属CD)等。バッハ・コレギウム・ジャパンの教会カンタータシリーズほか国内外での公演、CD録音に数多く参加した。現在東北学院大学教養学部教授、大学オルガニスト、同宗教音楽研究所々長。日本キリスト教団霊南坂教会、西片町教会オルガニスト。日本オルガニスト協会会長、日本オルガン研究会会員。

大島 博 (指揮)

熊本県生まれ。中央大学法学部卒業後、東京藝術大学音楽学部声楽科に入学。

渡辺 高之助、高 丈二、原田 茂生、中山 悌一の各氏に師事。86年、同大学院在学中にミュンヘン音大に留学、エルンスト・ヘフリガーに学ぶ。90-91年 D. フィッシャー＝ディースカウに師事。95年東京藝術大学大学院博士課程を修了。

宗教曲の分野で、初期バロックから現代作品まで幅広いレパートリーを持ち、とりわけバッハの演奏者として定評がある。また、ドイツ・リート及び日本歌曲の演奏にも積極的に取り組んでおり、自主企画によるリサイタルに加えて各地での客演も数多い。96年からは「ドイツ・リートのためのたのしみ」と題した、ドイツ歌曲を知るためのレクチャーを継続中。

近年は、さらに合唱指揮者、発声指導者としてもその活動の幅を広げている。立教大学大学院キリスト教学研究科特任教授。国立音楽大学非常勤講師。アンサンブル<BWV2001>メンバー。

櫻井 茂 (コントラバス)

学習院大学および東京藝術大学卒業。コントラバスを江口朝彦、ヴィオラ・ダ・ガンバを大橋敏成、ローレンス・ドレイフスの各氏に師事。芸大バッハ・カンタータ・クラブにおいて小林道夫氏の薫陶を受ける。独奏者として国内各地、ヨーロッパ、アメリカ、韓国等で活動。ドレイフス主宰のコンソート「PHANTASM」には創設以来度々客演、ヴィオローネ奏者としてはバッハ・コレギウム・ジャパン等の古楽合奏団に参加。東京藝術大学及び高知大学講師を経て、上野学園大学准教授。延世大学(ソウル)音楽研究所古楽専門課程特別招聘教授。

ジングアカデミー東京 (合唱)

大島 博の呼びかけにより、19世紀ドイツで隆盛を誇った合唱音楽の研究、演奏運動に範を求め、さらに遠く「アカデミア(快樂)」の原義に戻って、「歌う快樂(Singakademie)」を追求しようと2009年発足。各人が自立した音楽家として作品に取り組み、自由な雰囲気の中で有機的なつながりを持つ集合体として、完成度の高い音楽を作り上げることを目指しています。これまでに H. シュッツ「マタイ受難曲」、F. リスト「十字架への道」、H. ディストラ「クリスマス物語」などを演奏してきましたが、今後も比較的演奏される機会の少ない佳曲に取り組んでいく予定です。

【会場への交通アクセス】

電車・地下鉄

JR 各線「上野駅」入谷改札より入谷口から 徒歩 8 分
東京メトロ・日比谷線/銀座線「上野駅」1 番出口より徒歩 8 分

バス

台東区循環バス<東西めぐりん(浅草方面)>
「上野駅・上野公園(東京文化会館前)」より乗車、
「上野学園」にて降車、徒歩 0 分、行きのみ。
(めぐりん:所要時間 10 分、15 分間隔で運行)

住所: 上野学園 石橋メモリアルホール
〒110-8642 東京都台東区東上野 4-24-12 学校法人上野学園内

※駐車場はございません。お越しの際は、公共の交通機関をご利用ください。

